



崇高な進歩へ - 自分を律し、他者への共感を育む
より良い選択 & より良さを追求

第2学年主任

こころ 夢を語り 合いながら M I G A K I

— 当たり前の徹底(凡事徹底) - 有り難さの追求 -

< 居久根学習 ~ Summer ~ 保全活動の掲載記事紹介 >

三種郵便物認可 (日刊) 大崎タイムス 2022年(令和4年)7月24日(日曜日)



先日の豪雨では、水路や田畑からの越水があった同校周辺。生徒たちは水路から水があふれた場所まで越水当時の写真と水が引いた今

居久根の整備は学校から600mほど離れた佐々木明子さん(88)方で実施。大友さんと親川さんの指導を受けながら、のこぎりや剪定はさみで竹を切った

総合学習で2018年から継続している学びの環。例年は講師を務める地元の大友良

剪定など整備も体験

三さん(73)、親川麗子さん(74)宅の居久根を教材に行っていたが、こころは学校のある古

の様子を見比べ、周囲より一段高く造られた居久根の地盤や立ち並ぶ木々が水の流入を防

り、熊手や竹ぼうきでスギなどの落ち葉を集めたりした。高橋ひよりさん(14)はこの間の豪雨で実際に居久根が役に立っ

た跡を見て、自然災害を防ぐ役割もあることが理解できた。今回学んだことや体験したこと、大人になつたときに次の子どもたちにしっかりと伝えていきたい」と話していた。居久根の体験学習は9月にも行うことになっている。

大崎中古川西中(笹川清治校長)の2年生39人が19日、世界農業遺産「大崎耕土」の屋敷林「居久根」について学ぶ総合学習を地元住民宅などで行い、居久根を整備する体験も行った。15日からの記録的大雨による水の流入を居久根が食い止めた跡も観察し、その歴史と役割に理解を深めた。

古川西中 居久根の役割学ぶ

大雨の浸水被害軽減



発行所
〒989-6162
大崎市古川駅前大通5丁目3番23号
大崎タイムス社
http://www.osakitimes.com



長く伸びた竹を切り倒し、小分けにする生徒たち